

おひさま ニュース

2019

秋 号

10月15日発行



ホームページ

〒294-0014 千葉県館山市山本1155番地

TEL:0470-25-5111 <http://www.awairyo.jp/>

発行責任者：福内正義 編集責任者：根本達也

外来のご予約は **0470-25-5121**へ

受付時間／月～金曜日8:30～17:00 土曜日8:30～12:00

※安房医師会とは異なりますのでご注意ください

※台風15号の影響により、通常内容の紙面を作成することができませんでした。読者のみなさまにお詫び申し上げます。

特集

令和元年9月の台風15号により被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

当院も9月9日の未明より本館が停電となりました。非常用の自家発電機が作動しなかったのが原因です。これにつきましては現在原因精査し対応しております。また昼前に断水となり、電話も一切繋がりませんでした。当院に連絡をされた方々におかれては、さぞ不安な気持ちになったのではと思います。幸い9日の夕方遅くに電気が復旧し、翌日からなんとか一般外来を開始いたしました。しかし院内の混乱は続いており、電気や水の大切さを改めて思い知りました。

当院にとっても初めての大災害でした。今回経験したことを今後に生かすため職員全員つとめてまいります。災害は今回だけのことではありません。この地域の中核病院としての自覚と責任感をもって、みなさまに頼られる病院を目指してまいります。

院長 福内正義

当院DMATメンバーが中心となり指示を出しています



入院・救急患者さまや食糧などの院内状況他を記録しています



職種を問わず職員一同で対応しています



日を追うごとに支援物資が集まり自宅が停電の職員など大変助かりました



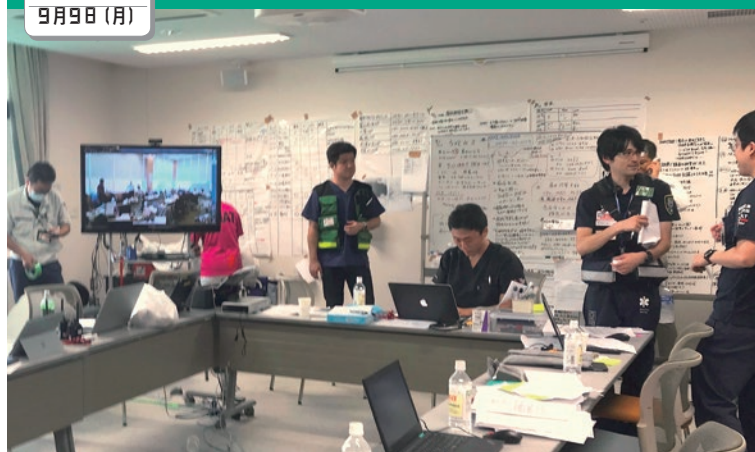
※現在募集しておりません



7:00

9月9日(月)

災害対策本部が立ち上がりました



DMAT・AMATほか、多くの方から医療支援を受けました

9:00頃
9月11日(水)

救急棟3階リハビリ室が医療支援チームの活動拠点本部になりました

16:30
9月11日(水)15:00頃
9月12日(木)16:30
9月11日(水)

安房保健医療調整会議

市・消防・保健所・医師会・DMAT
などで構成された会議を行っています16:40
9月11日(水)移送係を配置し、緊急の患者さま移動
に対応しました9:45
9月12日(木)ベッドが足りず、病棟デイルーム
に仮設病床を設けました10:00
9月20日(金)救急外来の支援を
していただきました10:30
9月18日(水)AMAT・消防士・救急スタッフ
合同で患者さまの対応にあた
りました

この度の令和元年台風15号で亡くなられた方々にはお悔やみを、また家が全壊・半壊して現在も不自由な生活や避難生活を余儀なくされている方々には心からのお見舞いを申し上げます。

当院は災害拠点病院として発災から様々な活動を行い、職員の多くは被災しながらも病院業務の維持に努めました。発災当日の9日は本館の電気・水道が不通となったため、一般外来や予定入院・手術が中止となり、数々のご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。

診療に大きなハンディを抱えながら、救急外来では連日通常の3～5倍にあたる100名超の救急患者が来院し、救急車による重症者も含んだ診療を行っていました。当



防衛省海上自衛隊facebookより引用

地域での対応不可と判断した方は自衛隊ヘリで域外搬送も行いました。

災害拠点本部を立ち上げ、保健所・市・消防・医師会と力を合わせて、また地域としての保健医療活動を行うため、DMAT・AMAT・日赤救護班・DPAT・JRAT・Peace Winds Japan(民間団体)・HuMAなどといった多くの医療支援チームと連携し、病院支援から高齢者施設の現状調査、避難所アセスメント、ボランティアセンター救護班の運営や被害が大きい地区の在宅避難者への訪問調査に至るまで、様々な活動を行いました。

これからもまだまだ多くの課題が残されていますが、災害拠点病院として一日も早い復興へ向けて活動を継続いたします。

DMAT=Disaster Medical Assistance Team(厚生労働省)

AMAT=All Japan Hospital Medical Assistance Team(全日本病院協会)

DPAT=Disaster Psychiatric Assistance Team(災害派遣精神医療チーム)

JRAT=Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team

(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)

HuMA=Humanitarian Medical Assistance(災害人道医療支援会)

救急センター長 藤江 聡

16:50
9月11日(水)

被災した職員の家族が
病院に避難をしていました



安房医療福祉専門学校看護学生の
ボランティア



昼
9月11日(水)

オルカ鴨川FCのバスを
お借りしました

避難してきた方々が涼むためや
携帯充電の場として提供



9:50
9月12日(木)

充電コーナーを
各所に開設



職員がおにぎりを用意



12:40
9月13日(金)

保育所の子ども達と
サッカーを!



元プロサッカー選手
(日本代表・ジェフ千葉)
巻 誠一郎さんが慰問に来て
くださいました



いつものおひさまニュース

救急のふじえ先生がお答えします!



≡その2≡

インフルエンザなのにタミフルとか出してもらえなかったよ?

インフルエンザは風邪の一種で基本的には自然に良くなります。タミフルなどの抗インフルエンザ薬を飲んでも重症化を防げるというデータもないのですよ。

実はインフルエンザの検査は行わないことが度々あります。流行期間中に風邪症状で来院される方はインフルエンザの可能性が高く、風邪と区別することが困難な上、簡易検査の精度も

確実ではありません。インフルエンザでないと学校や仕事を休めないという方が非常に多いので、拡散防止のため風邪症状の方をインフルエンザとすることもあります。

特に健常な方はインフルエンザの検査目的で救急にいられても残念ながらご希望に添えずに検査をしないことがあります。ですので自宅でしっかり水分補給などをして受診は控えましょう。**ただし、高齢者や慢性疾患がある方及び2歳未満のお子さん、なかなか症状がおさまらない方などは医療機関にご相談ください。**



トピックス

受賞者紹介

この度、当院看護師2名の永年にわたる看護業務への功績が認められ、以下の賞を受賞しました。



●公益法人日本看護協会
協会長表彰

田邊悦子看護師(左)

●千葉県看護功労者
知事表彰

山田成子看護師(右)

現在、田邊看護師は看護教育担当部長として、教育理念に基づき質の高い看護を提供できるように、看護職員の教育・指導に日々力を注いでいます。また、山田看護師は手術室師長として、手術室管理、看護業務の向上、スタッフの育成に尽力しています。

医療サポート

2020東京五輪
事前キャンプ

2020東京五輪に向け、8月に館山市内でアメリカ代表とオランダ代表のトライアスロン事前キャンプが行われました。当院は医療サポートの依頼を受け、オランダのチームドクターや館山市、他関係者の視察や面談などを重ね、受け入れ準備を進めてきました。また、今後増加が予想される、ホストタウン館山市を訪れる国内外からの選手や応援のお客さまの、医療面でのサポートに一丸となって臨みます。



編集 後記



おひさまニュース
バックナンバー

9月初旬、この秋号は通常の構成で発行に向け準備が整いつつありました。台風の接近を気にしながら参加した9月7日の政府主催の「大規模地震時医療活動訓練」(掲載を予定していました)は、秋号最後の取材となるはずでした。その2日後にまさかの災害

時医療活動が現実となりました。そこで今号は予定を変更し、災害拠点病院である当院が今回どのように災害に立ち向かい活動したのかをお伝えすることにいたしました。4面はいつものホットなおひさまニュースを掲載しております。



じゅんべりい